

令和4年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

熊本県

行事名称	江藤家住宅消防訓練（文化財防火デー）
実施期間・日時	令和5年1月28日（土）9：00～11：30
実施場所	国指定重要文化財江藤家住宅ほか（熊本県菊池郡大津町陣内1652）
主催者	江藤家住宅所有者、大津町教育委員会

■実施内容

訓練の想定

江藤家住宅敷地内の竹林から不審火により出火炎上し、重要文化財江藤家住宅主屋に延焼する恐れがあると想定。また、敷地内及び敷地外の消火栓から放水し、自然水利は利用できない時期を想定。

訓練の内容

江藤家住宅所有者による火災発見、通報、初期消火、重要物品（模擬）の搬出、避難誘導訓練を実施。消防署、消防団、自衛消防隊による放水訓練、水利の引継ぎ確認を実施。また、消防署による消防設備検査と防火講習会を実施。

参加者及び役割分担

江藤家住宅所有者（3名）：通報、初期消火、避難誘導、重要物品の搬出
 下陣内自衛消防隊（17名）：初期消火、重要物品の搬出、避難誘導
 大津町消防団（38名）：放水訓練
 菊池広域連合南消防署（6名）：全体統括、放水訓練、講評、訓練後の防火講習会
 区長（1名）、工事管理者・防災設備管理者等（8名）：現場立会い
 大津町教育委員会（4名）：現場立会い、各種事務

特に工夫した点

- ・コロナ対策で訓練参加者はマスクを着用し訓練を実施した。
- ・本年度までに設置された自動火災報知機や消火栓等の確認を所有者や自衛消防隊とともに実施。

問題点・課題

- ・平成28年熊本地震以降の災害復旧工事に伴い、今回の訓練で初めて使用した消防設備もあったため、訓練内容を踏まえて各種設備の所在や使用方法等を所有者や関係者で再度確認することが重要。
- ・高齢化等に伴う次世代への引継ぎ。

その他

- ・毎年文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となるため、今後も引き続き関係者と協議・連携しながら進めたい。

訓練風景



消防訓練



消防署による消火訓練指導



消防設備の説明